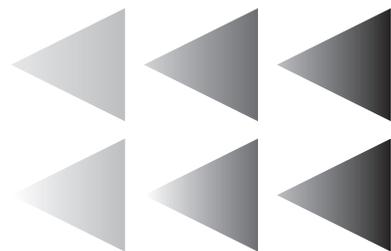


世界の歴史に名を残す6,800人を収録！

# 世界女性 人名事典



—歴史の中の  
女性たち—

世界女性人名事典編集委員会編  
A5・1,000頁 定価(本体16,000円+税)  
ISBN978-4-8169-1800-1 2004年10月刊行

## あらゆるジャンル、時代を網羅

神話の女神から中世の貴族、近現代の芸術家まで

ギリシア・北欧神話の女神から、中世の貴族夫人、近現代の政治家、作家、研究者、活動家、女優、スポーツ選手まで、世界各国・各時代の女性7,000人を収録した人名事典です。原綴り、生没年、詳細なプロフィールを調べることができます。原綴索引付き。

## 日本初！ 本格的な“世界女性人名事典”

人物調査が難しかった歴史上の女性たちをこの一冊で一覧することができます。各図書館でのレファレンスにお役立てください。

### 収録人物の例

インスギリシア神話 ハトシエプスト (1540-1481B.C.) 古代エジプトの女王 アグリッピーナ二世 (15-59) 古代ローマの女帝 文徳皇后 (601-636) 中国の皇后 アイシャー・ビン・アビ・バクル (613-678) 中世アラビアの宗教家 魚玄機 (844-871) 唐代の詩人 ベアトリーチェ・ポルティナリ (1266-1290) イタリアの貴族女性 アグネス・ダンバー (1312-1369) スコットランドの愛国者 イネス・カストロ (1323-1355) スペインの皇太子妃 マリーナ (1501-1550) メキシコ・インディアン種の種族長 メアリー・リード (1690-1720) イギリスの海賊 エカテリーナ二世 (1729-1796) ロシアの女帝 ジョルジュ・サンド (1804-1876) フランスの作家 メルチョラ・アキノ (1812-1919) フィリピンの愛国者 エマ (1836-1885) ハワイの女王 セルマ・ラーゲルレーフ (1858-1940) スウェーデンの小説家 アン・サリヴァン (1866-1936) アメリカの教育者 マルレーネ・ディートリヒ (1901-1992) ドイツ生まれの映画女優 マザー・テレサ (1910-1997) ユーゴスラヴィアのカトリック修道女 金素姫 (1917-1995) 韓国のパンソリ歌手 ローラ・アシュレイ (1925-1985) イギリスのデザイナー 呂燕九 (1927-1996) 北朝鮮の政治家 フローレンス・ジョイナー (1959-1998) アメリカの陸上選手 ……etc.

202007

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	世界女性人名事典 —歴史の中の女性たち 定価(本体16,000円+税) ISBN978-4-8169-1800-1	冊

**ガンディー, インディラ** (Indira GANDHI, 1917-1984)

インドの首相。ジャワハルラル・ネルーの一人娘としてアラハバードで生まれ、ベンガル大学、次いでオクスフォードのサマヴィル・カレッジで学んだ。1938年には国会議員に選出されたが、1942年にイギリス軍により逮捕、約一年間投獄された。1942年にフェロズ・ガンディーと結婚、二人の息子があったが、一人を航空機事故で失った。1959年にはインド議会党の党首、1975年にはシャストリ首相を継いで宰相に選ばれた。第三世界の代表的政治家として世界的に活躍したが、1894年にパンジャブ州での反乱を鎮圧するためにアムリツァールの寺院に軍隊を派遣したことに反発したシーク教徒により暗殺された。息子のラジブは母を継いでインドの首相となった。

**カント, ミンナ** (Minna CANTH, 1844-1897)

フィンランドの劇作家。7人の子を持つシングル・マザーとして、働きながら子供を育てた体験は、彼女を女性の権利を主張する方向に向けさせた。独学で文章作法を身につけて、40歳になってから書きはじめ、その作品ではっきりと主張を打ち出していた。戯曲には『労働者の妻』(1885)や『不運な子供たち』(1888)があり、1890年代には女性の心理を扱った作品を書いていた。

**ガント, ラヴ・ローサ** (Love Rosa Hirschmann GANTT, 1875-1935)

アメリカの公衆衛生学者。サウス・カロライナ州カムデンの生まれ、父は青果卸売商人で、母はローサが15歳の時に亡くなった。1898年にサウス・カロライナ医学カレッジに入学、このカレッジができたのは3年前であり、ローサは1901年に学位を得た最初の女性であった。その後、ニュー・ヨーク大学の診療所その他で修行し、眼科耳鼻咽喉科の医師となった。故郷に帰って開業したが、1905年に弁護士のロバート・ガントと結婚した。精力的な医師であるとともに、熱心な社会活動家でもあり、児童のために公衆衛生の分野のにりだした。州政府とかけあい、家蠅や鼠を駆除して学校や町の衛生状態を改善させ、第一次大戦時には地域の少女を赤十字に参加させるよう呼びかけていた。

**カンドール, アン** (Anne Casimir Pyrame de CANDOLLE, 1836-1925)

スイスの植物学者。ジュネーヴ大学の植物学教授の娘に生まれ、父の助手として植物の採集と研究に取り組み、父の死後にその遺著『植物分野の自然システム』を完成させた。

**カンパン, ジャンヌ** (Jeanne Louise Henriette CAMPAN, 1752-1822)

フランスの教育者。パリに生まれ、15歳でルイ十五世の三人の娘の家庭教師となり、20年にわたりマリー・アントワネットの侍女を勤めていた。1792年のチュイルリー宮殿襲撃から危うく逃れ、ロベスピエールの失脚後はサン・ジェルマンで淑女寄宿学校を経営、ナポレオンによりレジョン・ドヌール勲章の功労者の娘たちの学校を任され、これがブルボン王朝の復活で取りつぶされるまで校長を勤めた。著書には『マリー・アントワネットの個人生活についての回想』(1823)がある。

**カンポアモール, クララ** (Clara CAMPOAMOR, 1888-1972)

スペインの政治家。労働者の家庭に生まれ、若いころから女性の権利に目覚めていた。1931年には第二共和制において急進共和党の代議員に選ばれ、新憲法に婦人参政権の条項を取り入れることに貢献した。さらには、民法の改正にあたり委員会で活躍し、国際連盟の会議ではスペインを代表していた。市民戦争が勃発すると、立場が追いつめられ、1938年には国を去ってブエノス・アイレスへの亡命を余儀なくされた。クララは女性の平等な権利を主張する多数の論文を書いていた。

## 【キ】

**奇皇后** (QI huanghou, ?-1369)

中国の皇后。元の順帝の妃。高麗の生まれ、高麗から献ぜられて宮廷に入り、皇帝の寵をうけて皇太子を産み、第二皇后となった。息子のために皇帝を排除しようとして失敗、また、高麗で生家が彼女の出世により増長し、高麗王に征伐されたのを受けて、元から出兵させたが、大敗、さらに明の軍隊に追われて北に逃れたが、翌年に亡くなった。

**ギアツィントヴァ, ソフィヤ** (Sofia Vladimirovich GIATSINTOVA, 1895-?)

ロシアの演出家。モスクワ生まれ、1914